

野鳥公園の埋立地内への整備により 憩いのスポットとしてよみがえった自然環境

とう きょう

file08

東京港野鳥公園

整備面積 約25ヘクタール

豊かな自然が見事によみがえったことで、鳥類の飛来種が増加し、これまでに193種を観測（大井埠頭下の97%を確認）。また、市民の憩いの場として、年間6万～8万人の人が訪れ、ネイチャーセンターなどの学習の場としても整備されている。



第2部

個別港湾事例

おお さか なん こう

file09

大阪南港野鳥園

整備面積 約20ヘクタール（干潟部は約13ヘクタール）

これまでに、鳥類の飛来が252種にもおよんだことが観測されており、（大阪府下の85%を確認）その中にはレッドデータブック希少種に指定された20種も含まれている。豊かな自然との触れあいを求めて、年間に訪れる人も10万～15万人にのぼり、総合的学習などでも活用できるように整備されている。

